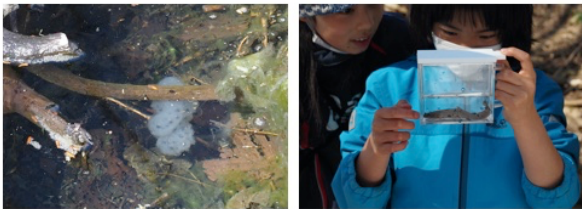


森の日記 2022年4月3日から5月22日まで

by 迷鳥キツキ

4月3日午前：今年第1回目のカエル産卵状態調査。2カ所でエゾサンショウウオの卵嚢を見ることができました。エゾサンショウウオの生体も見ました。エゾアカガエルは親ガエルたちがちょうど集まり始めたところを見ましたが、産卵はまだでした。あまり早いうちに産卵場所に来すぎて夜の低温で死ぬ個体もあることを知りました。林床ではフクジュソウ、フキノトウ、ザゼンソウなどが開花していました。



左上：エゾサンショウウオの卵嚢

右上：エゾサンショウウオを見つめる子供たち

4月10日午前：カエルの産卵状態調査の2回目。雪もほとんど融け、カエルの鳴き声も賑やかに聞こえ、産みだした卵もたくさん見ることができました。他にもゲンゴロウ、ヤマメ、ザリガニなどいろいろな生物を見ることができました。



左上：エゾアカガエルの卵嚢。

右上：エゾアカガエル。



左上：アズマイチゲ。 右上：フクジュソウ。

4月17日午前：活動地域のゴミ拾い。



左上：第2柏林台川でゴミ拾いをする小学生。

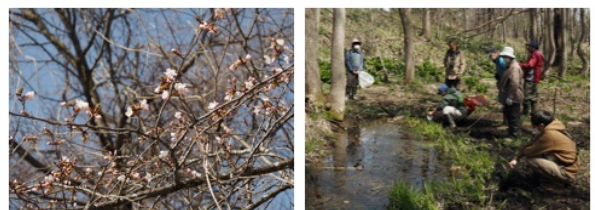
右上：集めたゴミを分別する会員。

4月17日午後：第3回目のカエルの卵調査。今までで一番参加者が多く、小学生も6人参加しとても賑やかでした。調査地の草花の開花も増えていろいろ楽しむことができました。



左上：産卵状態を観察中の会員。 右上：エゾアカガエルの卵嚢。

4月24日午前：第4回目のカエル調査、午後は植物調査。カエルの産卵数は過去の記録と比べて最大数に達したとのことで、前回(4月17日)までに1171個で、第4回目の新たな計数を加えれば1300個近くになるとのことです。これは調整池が土砂で埋まって浅くなり、かつ広がったことでカエルの産卵に適してきたことが原因として考えられるそうです。調査地の周辺の草花の開花も増えて楽しむことができました。



左上：集合場所付近で咲き始めたサクラ。

右上：産卵状態を観察中の会員。

4月24日午後：今年第1回目の植物調査は2班に分かれて行い、私はヤナギに興味があったので、ヤナギを

たくさん見られる方のコースに参加しました。ヤナギ以外にも、カラマツ、ヤチダモ、ドロノキなどの花を見ることができました。朝、調査地に向かう途中では日高山脈をくっきりと美しく見ることができましたし、エゾノヤマザクラも本格的に咲き始めました。



左上：カラマツの雌花。 右上：オノエヤナギの雌花。

5月8日午前：今年第1回目のチョウ類調査。風も強く見かけた蝶の数は少なかったのですが、スジグロシロチョウ、エゾスジグロシロチョウ、ミヤマセセリ、ルリシジミなどを確認することができました。調査中には各種の植物や野鳥の姿も楽しむことができました。調査終了後、ログハウス前でお昼から3時頃までエゾリスの会の総会が行われました。



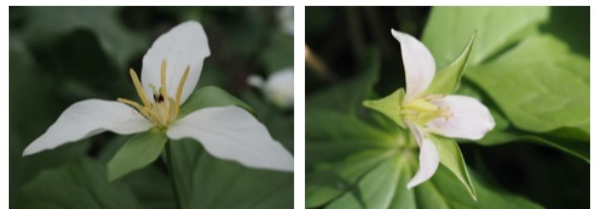
左上：スジグロシロチョウとエゾスジグロシロチョウ。
右上：ルリシジミ。

5月15日午前：里山プロジェクトで、掲示板の作成・設置と間伐材の片付け作業を行いました。私は掲示板の設置作業の方を行いました。掲示板の支柱を埋めるために穴を掘らなくてはならなかったため、小学生メンバーに穴の掘り方をコーチしました。掲示板の支柱には今日伐採したキタゴヨウの幹を用いましたが、キタゴヨウの切り株に早速キバチが飛んできて卵を産んでいました。



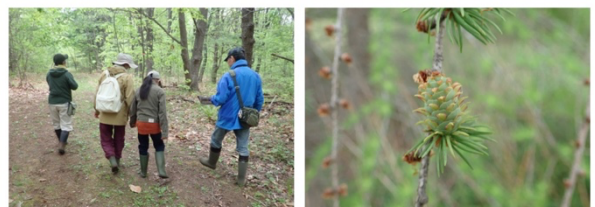
左上：再建された掲示板。 右上：キバチを観察中の会員。

5月15日午後：今年第2回目の植物調査。前回はヤナギやドロノキなどが多く生えているコースを回ったのですが、今回は主に森の中の林床を調べるコースに参加しました。いろいろな植物の名前を改めて確認することができて良かったです。13:15分から16:30頃までたっぷり3時間以上の調査でした。



左上：オオバナノエンレイソウ。 右上：ミヤマエンレイソウ。

5月22日早朝：朝5時から鳥類調査。鳥の調査はもっぱら鳴き声の判別によって行われました。キビタキが森に響くとても良い声で鳴いていました。他にもアオジ、ヤブサメ、センダイムシクイ、アオバト、アカゲラ、コゲラ、シマエナガなど、いろんな鳥がいましたが、直接目視できた鳥はわずかでした。新緑も楽しむことができました。



左上：第3班出発。 右上：大きく育ったカラマツの雌花。

<http://timetraveler.html.xdomain.jp>

でも活動の様子を報告しています。